

セミナー：乳幼児メンタルヘルス

本セミナーは「乳幼児観察セミナー」を発展させ、乳幼児、早期親子関係の臨床に焦点を拡大したものである。昨今、子どもの臨床では発達障害、虐待の子どもが溢れ、成人の心理療法においても乳幼児期の不適切な養育による精神症状の発症など、この乳幼児期の経験は重要なものである。

フロイトは乳幼児の経験が重要であることを初めて記述した。これは当時としては稀有な提言だった。また、乳幼児精神医学の領域では、乳幼児の発達に関する知見は常にアップデートされ、こうした知見も臨床に直結するものであり、こうした精神分析、乳幼児精神医学の最新の知見も含めて、乳幼児期のメンタルヘルスについて学ぶことができる。

本セミナーでは、乳幼児観察も含め乳幼児期の臨床実践、乳児院や児童養護施設での臨床、子育て支援などの実践などを含めて、幅広くこの領域での臨床と科学的知見に関して論じる。乳幼児臨床だけでなく、子育て支援、あるいは成人の臨床に関わっている専門家にも大きな寄与を為すはずである。

内 容：セミナーは乳幼児メンタルヘルスに関する講義、精神分析心理療法、乳幼児観察、実際の現場で関わる専門家の報告などである。

参加者：乳幼児さらに思春期、成人の心理臨床に関わっている方、或いは乳児院、子どもに関わる実践に関わっている方であれば、守秘義務を遵守の上、職種は問わない。

日 時：①令和8年7月26日 ②令和8年11月29日 ③令和9年3月7日
いずれも13時～17時

場 所：現地①、③TKP（市ヶ谷もしくは新宿） ②小寺財団セミナールーム
+Zoomによるオンライン参加

司 会：木部則雄（こども・思春期メンタルクリニック／白百合女子大学）
松本拓真（国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 教育学部）

講 師：①村田朱美（日本赤十字社医療センター小児科）「総合病院の乳幼児メンタルヘルス」
②永田雅子（名古屋大学心の発達支援研究実践センター教授）
0-3ヶ月までの親子関係とその支援- 周産期における課題と新生児行動観察(NBO)-
③シンポジウム：「今、改めて世代間伝達について考える」
シンポジスト：松本拓真・川畑友二（クリニック川畑）・
則武直美（岡山聖園子供の家施設長、全国児童養護施設協議会副会長）
指定討論：黒崎充勇（広島市立舟入市民病院）

症例発表：①畑山由華（東京医科大学病院小児科/皐月（母子生活支援施設））
②乳幼児観察の症例

定 員：現地20名、オンライン50名

受講料：15,000円

申込方法：下記URLまたは右QRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/MBtyhnKs6PJEKtee7>

申込期間：2026年5月26日(火)～7月12日(日)

問合せ先：小寺記財団事務局 kodera.fps@gmail.com

